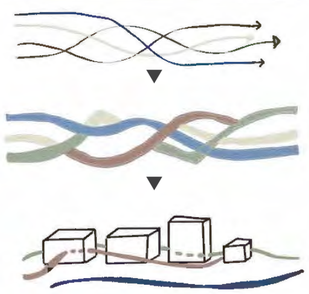
道を編む

mm を編む

設計主旨

大学とは、研究や試行を通して常に変化し、そのあり方を更新していく場所である。また、多様な人が行き交い、偶然の出会いや関わりを通して、新たな価値や関係が生まれる場でもある。本計画では、そのような大学の性質を「道を編む」という考え方で空間化した。敷地周辺には老人ホーム、保育園、住宅街があり、さらに五日市・楽々園方面から学生が通学するなど、多様な人の流れが存在している。それらの流れを建築へ引き込み、学生・子ども・齢者・地域住民のための 4 つの道として編み込むことで空間を構成した。それぞれの道は流れの速さや目的に応じて幅や形状を変え、道に沿って建物や用途を配置することで、人の行為が自然と空間ににじみ出す構成としている。異なる道が交差・接続する場所では、多様な世代や活動が重なり合い、新たな交流や学びが生まれる。人の流れを編み込みながら、使われ方や関係性が更新され続ける大学複合施設を提案する。



人の流れを読む

4 本の道を計画する

建物、用途に合わせて配置する

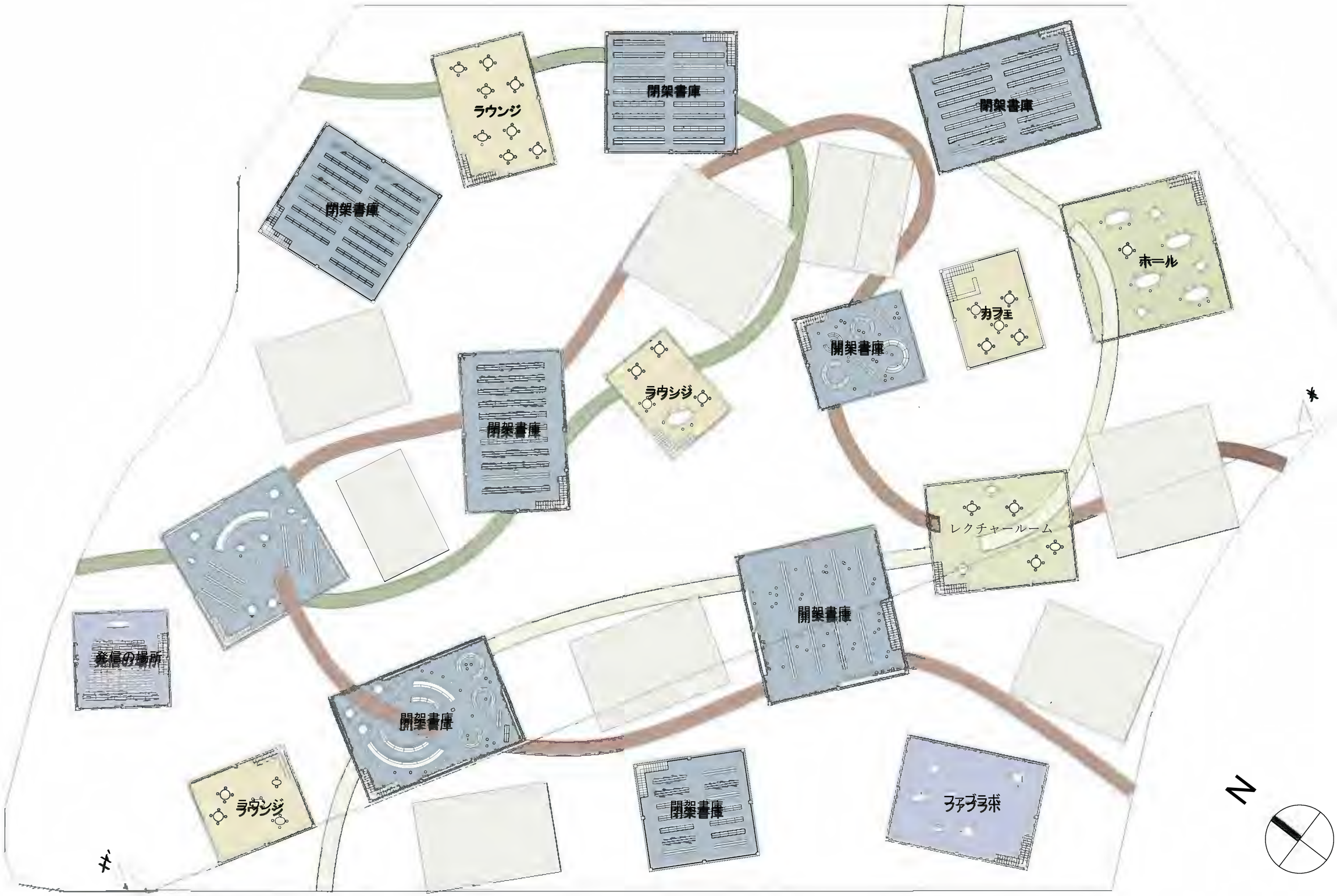
敷地概要

敷地場所：広島市佐伯区三筋 3 丁目
用途地域：第一種中高層住居地域
防火地域：法 22 条区域
敷地面積：9,073.00 ㎡
建ぺい率：60%以下（角地緩和 70%）
容 積 率：200%以下
道 路：東側 4.6m (都市計画道路 21m)、
西側 29m (広工大アプローチ道路) 、
南側 12m、北側 6m (拡幅後)

建築概要

用 途：大学複合施設（図書館・学生会館）
構 造：鉄筋コンクリート造
階 数：地上 2 階
建築面積：5100 ㎡［建ぺい率：56.21 %
延床面積：9300 ㎡［容 積 率：102.53 %］

面積表	床面積	主要用途
2 階床面積	5100 ㎡	図書館、交流ラウンジ、カフェ
1 階床面積	4200 ㎡	図書館、交流ラウンジ
延べ床面積	9300 ㎡	図書館、交流ラウンジ、カフェ


ラウンジ
閉架書庫
閉架書庫
閉架書庫
ホール
カフェ
閉架書庫
ラウンジ
閉架書庫
レクチャールーム
閉架書庫
発信の場所
閉架書庫
ラウンジ
閉架書庫
ファブラボ
N

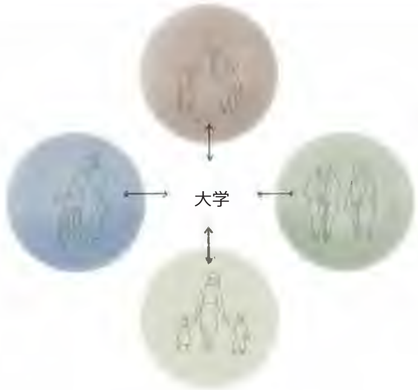
２階平面図　S＝1:300

43900
100500
25000
6000
4600
55000
60000
142500
3500
8500
ウェルネスガーデン
開架書庫
開架書庫
開架書庫
遊び場
カフェテリア
ホール
カフェ
開架書庫
ラウンジ
開架書庫
ラウンジ
開架書庫
憩いの場
レクチャールーム
遊び場
開架書庫
発信の場所
カフェテリア
ラウンジ
開架書庫
ファブラボ
カフェ
ラウンジ
N
5m
10m
30m
1階平面図　S=1：300

6000
43900
25000
4600
55000
115000
60000
2000
142500
8500
29000
17000
N

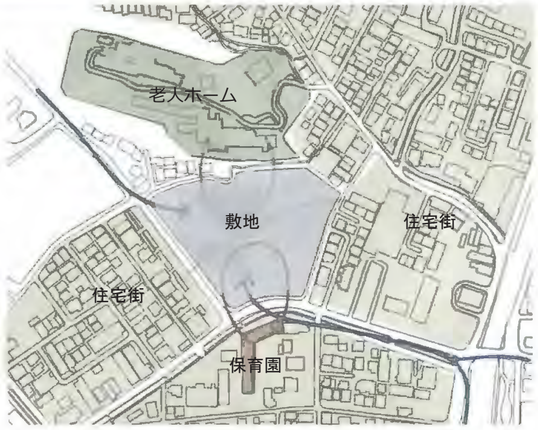
配置図　S＝1：500

1. 大学とは



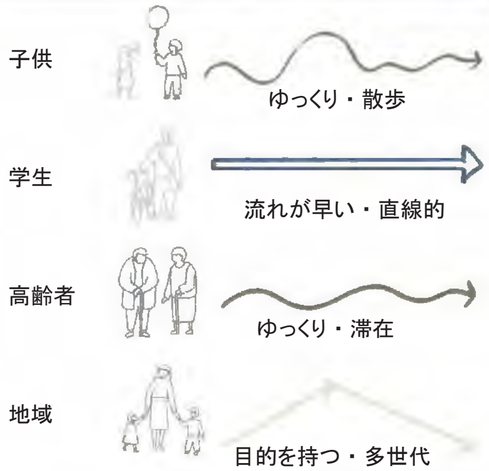
研究や試行を通して変化し続け、 多様な人が行き交い、 偶然の出会いや関りが生まれる

2. 周辺分析



敷地周辺には多様な人の流れが存在する

3. 人の流れを読む



4. 道を編む

4 つの流れを4本の道として計画し、
交差・接続させながら編み込む

交差する・接する・立体的に交差する

道を編むことで、 多様な人の関係が生まれる

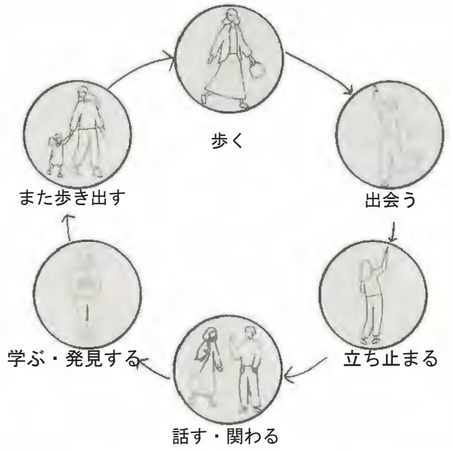
南側立面図　S ＝1：３００

6. 道の交差が交流を生む

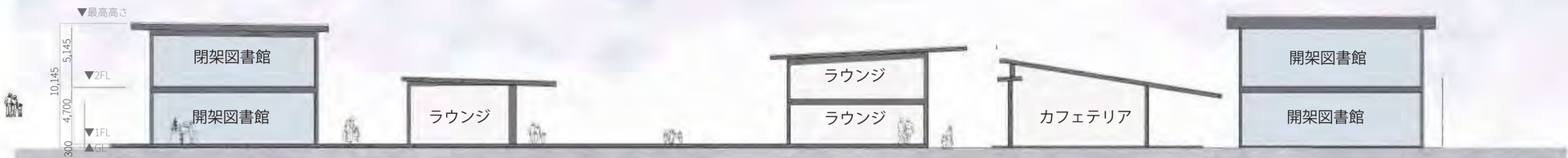
7. 使われ方が更新され続ける

5. 道に沿って用途が生まれる

人の行為や関りによって、空間の使われ方や、関係性が少しずつ更新されていく



南東立面図　S＝1:300



X-X’断面図　S＝1:300

X-X’断面図　S＝1:300